

【学校教育目標】「感謝の心をもち、自ら学び、たくましく生きる子供の育成」



学校だより 堂崎つ子

第 13 号

令和 6 年 9 月 18 日

南島原市立堂崎小学校

校 長 末吉 優

子供の健康と体力を考える

9月に入り、朝夕はいくらか過ごしやすくなり、虫の鳴き声から心地よさを感じます。しかしながら、日中の日差し、暑さは厳しいものがあります。

朝、集団登校する子供たちのランドセルを背負った肩や背中部分には、衣服に汗がにじんでいます。また、額にも汗が光り、頑張って歩いて登校したという自信がみなぎっており、たくましさを感じます。

堂崎小学校では、R6年度の学校経営方針：(4)元気な子(体)「自律し挑戦する心をもった子供」の育成の中で、「歩いて登下校の奨励」を掲げています。

今週17日(火)から運動会練習が始まりました。果たして、熱中症が心配される中、エアコン(冷房)に慣れている体が、この厳しい残暑に耐えられるだけの体力が備わっているのか心配するところです。

だからこそ、「元気ファミリープラン」でも取り組んでいる、十分な睡眠(早寝・早起き)、十分な食事・栄養摂取など自分の健康を考えた規則正しい生活リズムが必要なのではないでしょうか。あくまでも無理のないように徐々に汗をかく等の、暑さに慣れる試みが必要ではないかと思っています。保護者の皆さんはどのようにお考えでしょうか。



家庭の手伝いで汗を流す子供もいるでしょう。また、社会体育、地域のスポーツクラブ(ソフトボール・バレーボール・剣道・空手・水泳・サッカーなど)で汗を流し、体力や技術を高める子供もいるでしょう。堂崎小学校の子供たちが、自ら日常の体力づくりに関心をもち、生涯スポーツに携わるなどして、心も体もたくましく、成長することを願うばかりです。



二学期始業式(5年生発表)より

5年生が、2学期始業式の中で5年生としての抱負を一人一人述べました。

運動会や修学旅行、持久走大会など数々の行事があるので、それらの行事に一生懸命取り組む。生活面で忘れ物があるため、克服する。真のリーダーとして準備を進めるなど、6年生へ向けての抱負(内容)でした。また、現在掲げている学級目標の実現に向けて努力を重ねていくと、力強く発表しました。

力作揃いの「夏休み作品展」

夏休みの成果とも言える、夏休みに取り組んだ様々な作品や自由研究を見せてもらいました。「工作」「手芸」「図画」「習字」「自由研究」等々、どれも、子供たちの頑張りのあとが感じられました。子供たちの作品を見て、自分で考え、取り組んでいるなあと思います。できればもう大切かもしれませんが、それ以上に「自分で考え、粘り強く取り組む経験」が未来への自分を形作っていくと思います。そのような意味で、本校の子供たちの未来への期待を作品から感じました。



普賢岳学習での学びを全校朝会で発表(5年生)

6月から行ってきた「普賢岳学習」での学びをプレゼンテーションソフトを活用しながら、1年生にも伝わるように、クイズを交えながら発表しました。

これまでの学びを振り返りながら、友達と話し合い、協力してまとめること、そして、相手を意識して話す・伝えることで、学びが数倍も確実にになります。

内容は、以下の項目です。

- ①普賢岳災害の被害について
- ②旧大野木場小学校について
- ③3つの涙とは？（悲しみの涙・くやしい涙・うれしい涙）
- ④火山の「めぐみ」について
- ⑤キャンドルづくりについて
- ⑥命の守り方について



ヤクルト講話(健康教室)より 9月6日(金)

1・2年生合同でヤクルト講話を実施しました。今回は、「ウンチはおなかのお願い」というテーマで、子供たちと保護者を交えての講話でした。

3名の講師をお招きし、食べ物が大便になり排便されるまでを子供たちに分かりやすく話してくださいました。

健康な大便は水に浮き、においがきつくない。 一日300g程度である。

排便を助けるためにはストレッチ体操が有効である。

栄養バランスの良い食事をし、消化器官(胃や腸)の働きを活発にする適度な運動、十分な睡眠により健康に過ごしたいものです。



子育てサロン講演会(講師：浦川末子氏)に参加して 9月14日(土)

「子どもの将来の幸せのために ～親や地域の関わり～」という演題で子育てサロン講演会が開催されました。内容が豊富で、子育てに欠かせないこと、今必要なことについて考えさせられた次第です。

□ 子育ての基本(親の3つの仕事)

- ①しっかり抱きしめる(愛着形成:母性は「受け入れる・守る」)
- ②子ども行動に限界(しつけ)を設定する(しつけ=限界を教える。父性は「切る・区別する」)
- ③子別れ(ギブミーアロン) ～一人にして自立へ～ 子別れの儀式

□ 体験の重要性 ～非認知能力の育成～ 将来社会を生き抜く力を身に付けた大人になるために

- ①体験活動(キャンプ・子供会・祭り・清掃活動・町おこし・農漁村体験・芸術・地域ボランティア)

・自然体験 ・集団活動 ・地域行事 ・社会貢献 ・職業体験 ・文芸体験 ・科学体験等

- ②生活習慣(早寝・早起き・朝ご飯・清掃・洗濯・墓参り・誕生会等)

・規則正しい生活 ・遊び ・手伝い ・家族行事 ・運動 ・読書 ・動植物とのふれあい

- ③人との関わり(ほめられる・叱られる・認められる・しつけられる) (親との関係だけでは社会性は育たない。)

・家族との関わり ・友達との関わり ・先生との関わり ・地域との関わり

※ ご紹介したのは、ほんの序章に過ぎません。ご希望でしたら、配付された資料があります。校長までお知らせください。